

重点課題の評価と第2次計画の目標値

重点健康課題1 生活習慣病対策

<評価と課題>

第1次計画策定時は、糖代謝異常者の割合が高く年々増加している状況と、喫煙率が平成21年度の調査で5年前より増加していたということから、糖尿病対策とたばこ対策を重点課題として取り組んできました。

特定健診の結果では、HbA1c 保健指導以上の人の割合が平成21年度の73.7%と比べ平成25年度は64.4%と減少していますが、県平均と比べると高い状況です。

喫煙している成人の割合は、平成26年度の調査で男性29.6%、女性8.2%と平成21年度の男性36.5%、女性9.3%と比べ減少していますし、たばこの健康への影響を知っている人の割合もどの項目でも増加しています。母子手帳交付時のアンケートでは、平成21年度と比べ平成26年度は妊婦の喫煙率もその夫の喫煙率も低下していますが、まだ十分とはいえない状況です。

受動喫煙防止対策として市の管理している公共施設は現在86施設中97%の84施設が敷地内禁煙または施設内禁煙を実施していますし、分煙を実施している施設を含めると100%の実施になっています。

●特定健診でHbA1cが保健指導以上の人の割合

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
胎内市	73.7%	79.4%	74.4%	60.9%	64.4%
新潟県	69.9%	71.4%	66.7%	61.4%	56.9%

*平成25年度新潟県国保連合会「特定健診有所見者状況」より

●たばこ対策の評価指標の状況

		平成21年度	平成26年度
喫煙している人の割合	男性20歳以上	36.5%	29.6%
	女性20歳以上	9.3%	8.2%
市の管理する公共施設の分煙以上の実施割合	禁煙または分煙実施率	93.3% (98/105施設)	100% (86/86施設)
喫煙が及ぼす健康への影響について知っている人の割合	肺がん	81.5%	82.2%
	喘息	59.8%	67.3%
	気管支炎	66.3%	70.8%
	心臓病	51.2%	54.1%
	脳卒中	53.3%	59.7%
	潰瘍	38.4%	44.1%
	歯周病	47.7%	50.4%
	妊娠関連の異常	61.9%	65.5%
妊婦で喫煙している人の割合		5.1%	2.2%
妊婦の夫で喫煙している人の割合		61.4%	45.1%

*胎内市生活習慣アンケート及び母子手帳交付時アンケートより

たばこ対策はある程度の効果が見られましたが、平成 26 年度疾病別医療費で糖尿病・高血圧・脂質異常がレセプト件数でも医療費でも上位を占めています。さらに、脳血管疾患のレセプトのうち約 7 割が高血圧を、約 6 割が脂質異常を、約 4 割が糖尿病を持っていて、虚血性心疾患のレセプトのうち約 8 割が高血圧を、約 7 割が脂質異常を、約 5 割が糖尿病を持っていたという状況があります。

生活習慣病は相互に影響し合って、併発・合併することでより重症化しやすいことを考えると、たばこ対策のみならず、糖尿病及び高血圧や脂質異常等の循環器疾患対策も重要と考えるため、重点課題を生活習慣病対策として取り組むこととしました。

課題 1 食生活の改善が必要である

主食・主菜・副菜のそろったバランスの良い食事を 1 日 2 回以上食べる人の割合は、平成 21 年度 58.9%から平成 26 年度 57.0%と減少しています。野菜を食べる割合も平成 21 年度と比べ、毎食食べる人は 40.2%から 38.0%に減少していますし、1 日 1 回以上食べるという人も 76.3%から 72.4%に減少しています。減塩に取り組んでいる人の割合は 50.4%で、平成 26 年度の県民栄養調査県平均の 66.4%と比べても低い状況です。

●食習慣の状況

項目	平成 21 年度	平成 26 年度	新潟県(平成 26 年度)	
野菜を毎食食べる人の割合	40.2%	38.0%		
朝食を毎日食べる人の割合	83.3%	81.3%	87.8%	
減塩に取り組んでいる人の割合		50.4%	66.4%	
主食・主菜・副菜をそろえた食事を 1 日 2 回以上とる人の割合	58.9%	57.0%	59.9%	
自分の食事を良いと思っている人の割合	54.4%	49.1%		
飲酒習慣のある人に対する多量飲	男	15.0%	10.4% (4.9%)	(5.1%)
酒の人の割合 (全体に対する割合)	女	8.0%	4.8% (0.9%)	(0.9%)

(多量飲酒とは 1 日平均 3 合以上)

*生活習慣アンケートより

課題 2 運動習慣のある人が少ない

意識的に運動している人の割合は増加しているが、運動習慣(1 回 30 分以上かつ週 2 回以上の運動を 1 年以上続けている)のある人の割合は 20 歳以上で 12.5%とわずかに減少しており、県民調査結果の 25.3%と比べても低い状況である。

課題 3 特定健診の受診率が低く、特定保健指導の受講率も低い

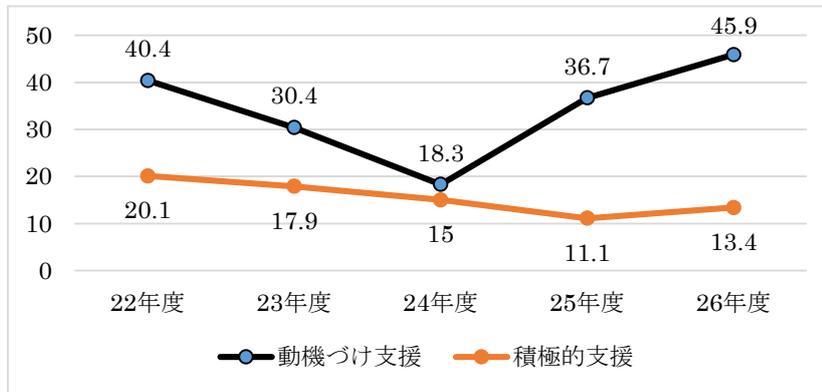
受診率は 25 年度から増加傾向にあり、県平均よりも高い状況にありますが、目標の 6 割には達していません。平成 25 年度年から受診者全員を対象に健診結果説明会を実施し、特定保健指導の利用率は大幅に上がりました。しかし、動機付け支援では約 4 割、積極的支援においては約 1 割の利用にとどまっている状況です。

毎年同じ人が対象になる場合が多く、継続的な指導につながりにくい状況にあります。

●特定健康の受診率の推移

	胎内市				新潟県		
	受診者数	受診率			受診率		
		総数	男性	女性	総数	男性	女性
平成 22 年度	2,616	45.0%	40.0%	50.2%	39.6%	35.9%	43.1%
平成 23 年度	2,550	43.0%	37.4%	48.8%	39.6%	36.1%	43.0%
平成 24 年度	2,493	42.3%	37.3%	47.6%	40.5%	37.1%	43.8%
平成 25 年度	2,647	45.4%	40.5%	50.4%	41.0%	37.9%	44.6%
平成 26 年度	2,654	46.3%	41.9%	50.8%	42.0%	38.7%	45.1%

●特定保健指導実施率の推移



* 平成 26 年度新潟県国保連合会「特定健診実施率」より

課題 4 特定健診の結果、糖代謝異常の有所見者が多い

特定健康診査で HbA1c が保健指導以上の人の割合が 60～70%で推移しており、県平均より高い状況です。平成 26 年度の生活習慣アンケートでは、40 歳以上で健診等で糖尿病または血糖が高いと言われたことがあるという人の割合は 25.0%であり、特定健診の平成 26 年度の HbA1c が保健指導以上の割合は 68.1%と比べるとかなりの差があり、所見があっても意識していない人が多いのではないかと考えられます。

課題 5 特定健診の結果、高血圧の有所見者が多い

(i) 収縮期血圧の状況

収縮期血圧は保健指導判定者・受診勧奨判定者ともに減少傾向で、近年の県内順位も下がっていますが、受診勧奨判定者の割合は県平均よりも割合が高い傾向です。

* 130～139mmHg：保健指導判定、140 mm Hg 以上：受診勧奨判定

(ii) 拡張期血圧の状況

保健指導判定者・受診勧奨判定者ともに約1割ずつおり、保健指導判定者の割合は常に県平均よりも高い状況ですが、受診勧奨者の割合は県平均よりも減少がみられています。

* 85～89mmHg：保健指導判定、90 mm Hg 以上：受診勧奨判定

●収縮期血圧有所見者の年次推移

収縮期血圧 (年次推移)	総数				男性				女性			
	保健指導判定		受診勧奨判定		保健指導判定		受診勧奨判定		保健指導判定		受診勧奨判定	
	胎内市	新潟県	胎内市	新潟県	胎内市	新潟県	胎内市	新潟県	胎内市	新潟県	胎内市	新潟県
平成 21 年度	20.6%	20.2%	33.9%	23.7%	22.1%	20.5%	37.5%	27.5%	19.3%	19.9%	30.8%	20.8%
平成 22 年度	17.7%	19.8%	31.4%	22.8%	18.2%	20.3%	34.1%	26.2%	17.2%	19.5%	29.2%	20.1%
平成 23 年度	18.0%	20.5%	21.6%	23.0%	19.2%	21.3%	24.9%	26.4%	17.1%	19.9%	19.0%	20.4%
平成 24 年度	18.5%	20.3%	21.0%	22.1%	21.4%	21.4%	23.9%	25.4%	16.1%	19.5%	18.6%	19.5%
平成 25 年度	18.6%	20.5%	21.9%	21.6%	21.7%	21.4%	24.2%	24.7%	16.1%	19.7%	20.1%	19.0%

* 平成 25 年度度新潟県国保連合会「特定健診有所見者状況」より

●拡張期血圧有所見者の年次推移

拡張期血圧 (年次推移)	総数				男性				女性			
	保健指導判定		受診勧奨判定		保健指導判定		受診勧奨判定		保健指導判定		受診勧奨判定	
	胎内市	新潟県	胎内市	新潟県	胎内市	新潟県	胎内市	新潟県	胎内市	新潟県	胎内市	新潟県
平成 21 年度	10.6%	9.4%	13.4%	10.4%	11.9%	11.6%	19.2%	14.5%	9.4%	7.7%	8.6%	7.3%
平成 22 年度	11.6%	9.1%	12.4%	10.0%	13.9%	11.5%	17.0%	13.8%	9.7%	7.3%	8.6%	7.0%
平成 23 年度	10.4%	9.4%	10.7%	10.8%	14.3%	11.5%	14.8%	14.7%	7.4%	7.7%	7.5%	7.8%
平成 24 年度	10.1%	9.4%	10.3%	10.8%	12.4%	11.4%	14.2%	14.8%	8.2%	7.7%	7.2%	7.6%
平成 25 年度	10.7%	9.5%	10.7%	10.7%	12.9%	11.7%	15.2%	14.6%	8.9%	7.8%	7.1%	7.6%

* 平成 25 年度度新潟県国保連合会「特定健診有所見者状況」より

課題 6 特定健診の結果、中性脂肪の有所見者が多い

中性脂肪の状況の推移をみると、保健指導判定者の割合は若干減少傾向ですが、受診勧奨判定者の割合は横ばいです。性別年代別有所見者の割合をみると、男女とも、ほぼすべての年代で県平均より割合が高くなっています。特に男性は女性よりも数倍割合が高くなっています。また、平均値は上昇傾向です。

* 150～299 mg/dl：保健指導判定、300 mg/dl 以上：受診勧奨判定

●中性脂肪有所見者の状況の年次推移

中性脂肪 (年次推移)	総数				男性				女性			
	保健指導判定		受診勧奨判定		保健指導判定		受診勧奨判定		保健指導判定		受診勧奨判定	
	胎内市	新潟県	胎内市	新潟県	胎内市	新潟県	胎内市	新潟県	胎内市	新潟県	胎内市	新潟県
平成 21 年度	<u>28.0%</u>	23.1%	<u>4.4%</u>	3.8%	<u>31.4%</u>	26.8%	<u>6.6%</u>	5.5%	<u>25.1%</u>	20.3%	<u>2.6%</u>	2.4%
平成 22 年度	<u>24.3%</u>	22.0%	<u>4.3%</u>	3.5%	<u>29.0%</u>	25.8%	<u>6.3%</u>	5.2%	<u>20.6%</u>	19.1%	<u>2.7%</u>	2.1%
平成 23 年度	<u>24.4%</u>	22.6%	<u>4.1%</u>	3.7%	<u>28.5%</u>	26.4%	<u>6.2%</u>	5.5%	<u>21.1%</u>	19.6%	<u>2.4%</u>	2.2%
平成 24 年度	<u>24.5%</u>	21.7%	<u>3.7%</u>	3.6%	<u>29.4%</u>	25.4%	5.1%	5.4%	<u>20.5%</u>	18.8%	<u>2.6%</u>	2.2%
平成 25 年度	<u>23.5%</u>	22.0%	<u>4.4%</u>	3.6%	<u>27.3%</u>	25.9%	<u>7.1%</u>	5.5%	<u>20.5%</u>	18.9%	<u>2.3%</u>	2.2%

*平成 25 年度度新潟県国保連合会「特定健診有所見者状況」より

課題 7 特定健診の結果、肥満者の割合が高い

肥満（BMI25 以上）の割合は男女とも県平均より高く、生活習慣病予防には適正体重を維持することの大切さを周知していく必要があります。

●BMI 有所見者の年次推移

BMI 有所見者	総数		男性		女性	
	胎内市	新潟県	胎内市	新潟県	胎内市	新潟県
平成 21 年度	<u>27.2%</u>	22.6%	<u>28.5%</u>	25.1%	<u>26.1%</u>	20.6%
平成 22 年度	<u>26.7%</u>	22.4%	<u>29.0%</u>	25.3%	<u>24.7%</u>	20.2%
平成 23 年度	<u>24.8%</u>	22.4%	<u>27.4%</u>	25.6%	<u>22.7%</u>	19.9%
平成 24 年度	<u>23.7%</u>	22.5%	<u>26.1%</u>	25.7%	<u>21.8%</u>	20.0%
平成 25 年度	<u>23.3%</u>	22.8%	26.3%	26.4%	<u>20.8%</u>	19.9%

*平成 25 年度度新潟県国保連合会「特定健診有所見者状況」より

課題 8 死因は、心臓病、脳血管疾患、糖尿病が多い

死因は、がんに次いで心臓病、脳疾患、糖尿病の順で多くなっています。国・県・同規模平均と比較すると、脳疾患、糖尿病、自殺が高くなっており、糖尿病は約 2 倍となっています。

●国・県・同規模平均と比較した胎内市の死因の状況

		胎内市	新潟県	同規模平均	国
死 因	がん	41.2%	46.7%	45.0%	48.3%
	心臓病	24.3%	24.8%	28.2%	26.6%
	脳血管疾患	23.9%	20.3%	18.3%	16.3%
	糖尿病	3.5%	1.7%	1.8%	1.9%
	腎不全	3.1%	2.8%	3.7%	3.4%
	自殺	3.9%	3.7%	3.1%	3.5%

*KDBシステムより

課題9 脳血管疾患・虚血性心疾患は、高血圧・脂質異常症・糖尿病の合併が多い

脳血管疾患のレセプトのうち、4割以上が糖尿病をもっており、高血圧は7割、脂質異常症は約6割をもっています。また、虚血性心疾患のレセプトのうち、約5割が糖尿病を、約8割が高血圧を、約7割が脂質異常症をもっています。

この状況から脳血管疾患や虚血性心疾患には、糖尿病、高血圧、脂質異常症が関係しており、脳血管疾患や虚血性心疾患の予防には、これらの生活習慣病の予防が重要であることがわかります。

●脳血管疾患・虚血性心疾患と生活習慣病の合併状況

レセプト	脳血管疾患			虚血性心疾患		
	糖尿病	高血圧	脂質異常症	糖尿病	高血圧	脂質異常症
平成 24 年	41.7%	69.0%	56.8%	45.7%	76.7%	64.2%
平成 25 年	44.6%	68.8%	56.7%	49.1%	77.4%	69.2%
平成 26 年	44.2%	72.2%	58.6%	51.7%	76.7%	73.3%
平成 27 年	44.5%	74.8%	56.3%	47.4%	78.3%	69.5%

* K D B システム 各年度7月のレセプト分析より

課題10 要介護・要支援認定者の8~9割が血管疾患をもっている

要支援・要介護状態の予防のためには、これらの疾患を予防していく必要があります。

●胎内市国民健康保険被保険者の要介護・要支援認定者の有病状況

血管疾患の有病状況 *レセプトの診断名より重複して計上		第2号 40~64歳		第1号 65~74歳	
		人数	割合	人数	割合
要介護・要支援認定者数 (胎内市国保被保険者)		30人		98人	
循環器疾患 (重複あり)	脳卒中	18人	60.0%	45人	45.9%
	虚血性心疾患	5人	16.7%	12人	12.2%
	腎不全	1人	3.3%	0人	0.0%
基礎疾患 (重複あり)	糖尿病	18人	60.0%	39人	39.8%
	高血圧	21人	70.0%	55人	56.1%
	脂質異常症	10人	33.3%	43人	43.9%
血管疾患合計 (実人数と割合)		27人	90.0%	79人	80.6%

* K D B システムより

<今後の目標値>

目的	生活習慣の改善や早期治療により、糖尿病及び循環器疾患が減少する
目標	①特定健診結果で血圧値及び中性脂肪の受診勧奨判定者の割合を減らす ②特定健診結果で糖代謝異常者の割合を減らす ③特定健診受診者が増加し、早期発見ができる ④食生活が改善する ⑤運動に取り組む人を増やす ⑥特定健診でBMI 25以上の人を減らす ⑦喫煙者の割合を減少させる

評価指標		平成 21 年度 実績	平成 26 年度 実績	平成 31 年度 目標値
特定健診受診率	40～74 歳	45.1%	46.3%	60.0%以上
特定健診における HbA1c 保健指導以上の人の割合	40～74 歳	74.1%	65.7%	60.0%以下
特定健診における収縮期血圧受診勧奨判定の人の割合	40～74 歳	33.9%	21.9% (平成 25 年度参考値)	減少
特定健診における拡張期血圧受診勧奨判定の人の割合	40～74 歳	13.4%	10.7% (平成 25 年度参考値)	減少
特定健診における中性脂肪受診勧奨判定の人の割合	40～74 歳	4.4%	4.4% (平成 25 年度参考値)	減少
主食・主菜・副菜をそろえた食事を 1 日 2 回以上とる人の割合	18 歳以上の男女	58.9%	57.0%	増加
野菜を毎食食べる人の割合		40.2%	38.0%	増加
減塩に取り組んでいる人の割合		—	50.4%	増加
朝食を欠食する人の減少	20 歳代男性	18.2%	16.5%	15.0%以下
	30 歳代男性	28.8%	13.7%	10.0%以下
多量 (3 合以上) に飲酒する人の割合	男性 20 歳以上	7.1%	4.9%	減少
	女性 20 歳以上	1.1%	0.9%	減少
喫煙している人の割合	男性 20 歳以上	36.5%	29.6%	減少
	女性 20 歳以上	9.3%	8.2%	減少

喫煙が及ぼす健康影響について知っている人の割合	肺がん	81.5%	82.2%	増加
	喘息	59.8%	67.3%	
	気管支炎	66.3%	70.8%	
	心臓病	51.2%	54.1%	
	脳卒中	53.3%	59.7%	
	潰瘍	38.4%	44.1%	
	妊娠関連異常	47.7%	50.4%	
	歯周病	61.9%	65.5%	
妊婦で喫煙している人の割合		5.1%	2.2%	減少
妊婦の夫で喫煙している人の割合		61.4%	45.1%	減少
運動習慣のある人の割合 (週2回以上、1回30分以上、 1年以上継続)	男性20歳以上	17.2%	13.7%	20.0%以上
	女性20歳以上	10.5%	12.4%	15.0%以上
意識的に運動を心がけている人の割合	男性20歳以上	60.4%	63.2%	65.0%以上
	女性20歳以上	50.4%	58.3%	60.0%以上
適正体重を維持している人の増加 (肥満者等の割合)	20歳代女性のやせの者	26.7%	11.2%	10.0%以下
	20～60代男性の肥満者	31.6%	27.0%	25.0%以下
	40～60代女性の肥満者	25.5%	18.5%	15.0%以下

<対策>

- ・乳幼児健診や育児教室、ぴよぴよ広場、パパママ学級等の母子保健事業で、離乳食からの減塩、栄養バランス指導及び親世代の食事指導を実施します
- ・地区での健康教育で食生活改善推進委員の活動とも協力しながら減塩、バランス食の普及に努めます
- ・市報、ホームページを活用して情報提供をします
(減塩、バランス食、適正飲酒、たばこの害、市の健康課題等について)
- ・特定健診結果説明会や特定保健指導、生活習慣病予防の教室等で、減塩、バランス食の指導及び適正飲酒や休肝日を設けることや無理なく効果的に継続できる運動の指導を行います
- ・特定健診の結果、特に重症化が心配される人を対象に、医療機関への受診勧奨や生活習慣改善について個別に指導を行います
- ・糖尿病予防講演会やほっと HQT・まつり、各健康教育の場(中小企業の健診会場や地区等)において、市の実態や課題について説明し、生活習慣病の危険性や重症化予防のための生活習慣についての情報提供を行います
- ・第2章のたばこ対策の実施計画に基づいた取り組みを実施します